

政策シート

(政策名) 一人ひとりが自己実現できる男女共同参画の推進
(予算費目名) UD・男女共同参画費

(総合計画体系)

「分野」	地方自治・都市経営
30年後の姿	協働による持続可能な都市経営を推進し、全国をリードする自立した基礎自治体になっている。
10年後の目標	<ul style="list-style-type: none"> 協働に関わる多様な主体が連携し、協働による質の高い市民サービスが提供されている。 公共インフラの整備・維持・管理に民間活力の導入が進んでいる。

◆基本政策 だれもがいいきと暮らせる市民主体の地域社会の実現

◇政策の概要

持続可能な経済成長を達成しながら、社会の活力を維持していくためには、すべての人が性別に関わりなく個人として尊重され、自らの意思によりその個性と能力を十分に発揮することが不可欠であり、とりわけ女性が活躍できる環境づくりが急務です。このようなことから、これらを阻害する根底にある「固定的性別役割分担意識」の解消に向け、市民や市民団体等と連携した取組を一層推進します。企業には、ワーク・ライフ・バランスの重要性を認識し、自主的な取組を行うための環境づくりを支援します。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	42,960	40,557	48,466	38,802
決算	40,057	38,788	45,745	
人件費(A)	26,600	27,860	28,000	28,000
報酬(B)	128	200	291	153
年間経費(予算又は決算+A+B)	66,785	66,848	74,036	66,955

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
男女共同参画社会実現に向けた市の取り組みに対する満足度	%	25	目標	15	15	15	15
			実績	14.9	14.4	8.1	
活動拠点施設で開催された講座の満足度	%	95	目標	80	85	90	95
			実績	96	95.8	94.6	
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

持続可能な経済成長を達成しながら、社会の活力を維持していくためには、すべての人が性別に関わりなく個人として尊重され、自らの意思によりその個性と能力を十分に発揮することが不可欠であり、とりわけ女性が活躍できる環境づくりが急務です。そこで、それらを阻害する根底にある「固定的性別役割分担意識」の解消に向け、市民や市民団体等と連携した取組を一層推進します。企業には、ワーク・ライフ・バランスの重要性を認識し、自主的な取組を行うための環境づくりの支援をします。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
<p>・こらば講座(31回/計画値40回、2,393人/計画値4,500人)を実施したほか、市内13事業所から20名が参加する「はままつ働く女性活躍応援ネットワーク」会議を計4回実施した。</p> <p>・働く女性を対象にキャリアアップや就労継続を目的としたセミナー「働き女子のナイトミーティング(計6回:延べ120名参加)」を実施した。</p> <p>・働きやすい職場環境づくりの支援として、ワーク・ライフ・バランスアドバイザーを3企業に派遣したほか、ワーク・ライフ・バランスや女性活躍に取り組んでいる市内39事業所を認証した。</p>	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		非常勤
1	男女共同参画推進事業					17,226	3,413	1.5	0.1		1.0	153
2	ワーク・ライフ・バランス推進事業	○	○	○		17,510	6,650	1.5	0.1			
3	女性サミット開催事業(負担金)				○							
4	DV防止支援事業					6,392	4,632	0.2	0.1			
5	活動拠点施設事業		○	○		26,907	24,107	0.4				
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						68,035	38,802	3.6	0.3		1.0	153

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 男女共同参画推進事業

◇事業目的・事業対象

固定的な役割分担意識を解消し、男女が互いに人権を尊重するとともに、社会の対等な構成員として施策・方針などの意思決定の場に等しく参画できるよう、意識啓発や人材の育成などの事業を展開する。
また、男女共同参画審議会を開催し、男女共同参画に係る諸施策の調査審議を行い、男女共同参画社会の実現に向けた取組の推進を図る。

◇事業の概要

- ・市民が開催する学習会へ男女共同参画アドバイザーを派遣する「こらぼ講座」や、市民団体からの企画提案により実施する「UD・男女共同参画提案事業」など、市民に向けた意識啓発事業を実施する。
- ・男女共同参画の意識を醸成するため、市民向け情報誌「ハーモニー」を発行する。
- ・子供たちの教育に携わる教職員や保育士などを対象に、意識啓発のための研修会を実施する。
- ・男女共同参画週間中(6/23～6/29)に、本庁舎1階ロビーで男女共同参画のパネル展示による広報、啓発活動を行う。
- ・男女共同参画審議会を開催し、男女共同参画の推進に関する重要事項を審議する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S63	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市男女共同参画推進条例	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	4,951	7,485	5,257	3,413
	決算	3,908	6,480	3,472	
	国・県支出				
	市債				
	その他				
	一般財源	3,908	6,480	3,472	3,413
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)		128	200	291	153
人件費 (千円)		14,700	15,960	10,500	13,660
人工	正規	1.7	1.8	1.1	1.5
	再任用(h31)				0.1
	再任用(h26)				
	非常勤	1.0	1.2	1.0	1.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
こらぼ講座年間実施数(回)				-		-
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	40	40	40	40		50
実績値	51	38	31			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
男女共同参画社会実現に向けた市の取組みに対する満足度(%)				-		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	15	15	15	15		25
実績値	14.9	14.4	8.1			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
						-
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

・市民が開催する学習会へ男女共同参画アドバイザーを派遣する「こらぼ講座」や、市民団体からの企画提案により実施する「男女共同参画パートナーシップ委託事業」など、市民に向けた意識啓発事業を実施する。
・男女共同参画の意識を醸成するため、市民向け情報誌「ハーモニー」を発行する。
・職員(男女共同参画推進リーダー、新任監督者など)や子どもたちの教育に携わる教職員に対し、意識啓発を図るための研修会を実施する。
・国の男女共同参画週間に呼応して、本庁舎1階ロビーで啓発パネル展示を実施する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

・こらぼ講座(31回/計画値40回、2,393人/計画値4,500人)の実施や、市民団体からの企画提案により実施する「男女共同参画パートナーシップ委託事業」を6事業採択するなど、市民に向けた意識啓発にかかる事業を実施した。
・平成29年度市民アンケート調査における「市の取り組みの満足度評価(男女がともにあらゆる分野に参画する男女共同参画社会の実現に向けた市の取り組み)」について、「満足している」の割合は、前年と比較し6.3ポイント減少した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 協働・助成 / - 事業費 現状 人工 現状

男女共同参画意識を啓発する情報誌「ハーモニー」や「小中学校への男女共同参画推進学習」を市民団体に委託するなど、市民団体との連携・協働により、市民目線による意識啓発に繋げることができた。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 協働・助成 / 一部委託 事業費 現状 人工 現状

「こらぼ講座」には、男女共同参画推進に関するメニューと、ワーク・ライフ・バランス推進に関するメニューとが混在していることから、整理していく必要がある。

補助シート (事業名) 男女共同参画推進事業

◇事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
124	<p>・ワーク・ライフ・バランスアドバイザーを企業へ派遣をして、男女がともに働きやすい職場環境を推進する。</p>	<p>・ワーク・ライフ・バランスアドバイザーを企業へ派遣をして、男女がともに働きやすい職場環境を推進する。 ・ワーク・ライフ・バランス等推進事業所表彰制度を創設、事業所におけるワーク・ライフ・バランス等の好事例を地域に広める。</p>		

事業シート (事業名) ワーク・ライフ・バランス推進事業

◇事業目的・事業対象

長時間労働などの男性中心型労働慣行の見直しは、あらゆる分野における女性の活躍推進につながっていくことから、「仕事」と家事、地域活動などの「仕事以外の生活」とのバランス(ワーク・ライフ・バランス)を考えることが重要である。一人ひとりが、ワーク・ライフ・バランスを正しく理解し、職場や家庭、地域社会等における責任を果たすとともに、多様な活動に従事できるよう、地域におけるワーク・ライフ・バランスの一元的な推進を図る。

◇事業の概要

- ・ワーク・ライフ・バランスの重要性を理解するためのセミナーや、女性管理職育成のための講座等を実施する。
 - ・ワーク・ライフ・バランス等推進事業所認証事業を実施、事業所におけるワーク・ライフ・バランス等の好事例を地域に広める。
 - ・20代～30代の働く女性を対象に、継続就労やキャリアアップを支援するための講座を開催する。
- 【重点戦略項目 No124】
- ・男女がともに働きやすい職場環境づくりを支援するため、企業にワーク・ライフ・バランスアドバイザーを派遣する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H27	-	一般会計	自治事務(その他)	女性活躍推進法	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	4,036	3,440	5,209	6,650
	決算	2,431	3,021	4,573	
	国・県支出				
	市債				
人件費(報酬等) (千円)	その他				
	一般財源	2,431	3,021	4,573	6,650
	一般会計繰入金				
人件費 (千円)		6,300	6,300	7,000	10,860
人工	正規	0.9	0.9	1.0	1.5
	再任用(h31)				0.1
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
はままつ働く女性応援ネットワークの参加者数(人)				-		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	25	25	25	-	-	-
実績値	23	20	20	-	-	-
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
ワーク・ライフ・バランスアドバイザー派遣件数(件)				124		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	5	5	5	7		10
実績値	3	3	3			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
ワーク・ライフ・バランスなど推進事業所認証事業所数(社/年)				I-2(2)ア		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	0(準備)	10	10	30	30	30
実績値	0(準備)	30	39			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

・働く女性の連携を支援するため、「はままつ働く女性活躍応援ネットワーク」の活動報告や参加企業の紹介などをHPから情報発信する。
 ・これから結婚、出産を控える主に20代～30代の働く女性を対象に、キャリアアップ及び就労継続を支援するための全6回の講座を開催する。
 ・男女がともに働きやすい職場環境づくりを支援するため、企業にワーク・ライフ・バランスアドバイザーを派遣する。
 ・ワーク・ライフ・バランスや女性の活躍の推進に取り組んでいる市内事業所を認証及び表彰することにより、事業所におけるワーク・ライフ・バランス等の好事例を地域に広める。
 ・結婚や出産、子育てにより職を離れた女性を対象に、地域活動やPTA活動、就労などの社会参画を支援する。
 【重点戦略項目 No124】
 ・男女がともに働きやすい職場環境づくりを支援するため、企業にワーク・ライフ・バランスアドバイザーを派遣する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

 ・「はままつ働く女性活躍応援ネットワーク」事業に市内13事業所から20名が参加し、ワークショップや講座などのネットワーク会議を計4回実施した。
 ・働く20代～30代の女性を対象にキャリアアップや就労継続を目的としたセミナー「働き女子のナイトミーティング(計6回:延べ120名参加)」を開催した。
 ・働きやすい職場環境づくりを支援するため、ワーク・ライフ・バランスアドバイザーを3企業に派遣するほか、ワーク・ライフ・バランスや女性活躍に取り組んでいる市内39事業所を認証した。
 ・子育て中の女性を対象に、家事や育児との「両立への不安」を取り除き、就労、地域活動、PTA活動など様々な場面での参画を後押しする講座「子育て世代の女性活躍支援講座(計4回:延べ150名参加)」を開催した。

・事業の見直し

実施結果
 大項目 小項目 / 事業費 人工
 各種講座については、参加者の満足度が高かったことから一定の成果があったといえる。
 ワーク・ライフ・バランス等認証事業については、事業の定着を図るため、平成29年度は2回の応募期間を設け、昨年度を上回る39事業所を認証した。

今後の方向性
 大項目 小項目 / 事業費 人工
 異業種交流を目的として平成26年度から開始した「はままつ働く女性活躍応援ネットワーク事業」の2期目が今年度で事業終了となることから、事業目的と対象をより明確にするため、ロールモデルの育成及び経営者のマインド変革のプログラムを含めた「ワーク・ライフ・バランス推進プロジェクト」を新規事業として開始する。

補助シート (事業名) ワーク・ライフ・バランス推進事業

◇事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
123	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的に地元で活躍できる人材の育成を目標とした「はままつ女性カレッジ」を開催する。 ・前年度のカレッジ修了生には、情報誌の編集等を通じ、男女共同参画の推進に協力してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的に地元で活躍できる人材の育成を目標とした「はままつ女性カレッジ」を開催する。 		
124			<ul style="list-style-type: none"> ・ワーク・ライフ・バランスアドバイザーを企業へ派遣をして、男女がともに働きやすい職場環境を推進する。 ・ワーク・ライフ・バランス等推進事業所認証制度により、事業所におけるワーク・ライフ・バランス等の好事例を地域に広める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーク・ライフ・バランスアドバイザーを企業へ派遣をして、男女がともに働きやすい職場環境を推進する。 ・ワーク・ライフ・バランス等推進事業所認証制度により、事業所におけるワーク・ライフ・バランス等の好事例を地域に広める。

事業シート (事業名) 女性サミット開催事業(負担金)

◇事業目的・事業対象

本市が目指す「女性が輝いきいきと暮らせる社会の実現」を図るため、様々な分野で活躍する女性リーダー等を中心に企業の経営者など男女を問わず、ともに「女性の活躍」について考え行動につなげるサミットを開催する。

◇事業の概要

- ① 実施時期 平成29年11月23日(木・祝日)～25日(土)
- ② 実施会場 アクティシティ浜松大ホール、コンgresセンター
- ③ 事業概要(案) 11/23 エクスカーション、夜楽
11/24 開会式、基調講演、パネルディスカッション、トークショー、交流会
11/25 公開セミナー、分科会、分科会報告、閉会式
- ④ 実施体制 実行委員会
- ⑤ 今後のスケジュール 4月～ 実行委員会発足、事業広報開始
8月～ 申込案内チラシの配布開始

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H29	H29	一般会計	自治事務(その他)	浜松市男女共同参画推進条例	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算			8,000	
	決算			7,939	
	国・県支出				
	市債				
	その他			7,939	
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)				5,600	
人工	正規			0.8	
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
女性サミット参加者延べ人数						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値			1500			
実績値			4018			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

11/23 エクスカーション、夜楽
11/24 開会式、基調講演、パネルディスカッション、トークショー、交流会
11/25 公開セミナー、分科会、分科会報告、閉会式

・事業の成果と課題

指標の達成度

NAOTORA女性サミットで開催された各プログラムにより、働き方改革、ワーク・ライフ・バランス及び女性活躍の重要性が認識され、各分野における変革への機運が醸成された。
この機運の高まりを一過性のものとすることなく、官民が一体となって自身の望むバランスで仕事と生活との調和がとれる社会の実現に向け行動することが必要である。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

事業シート (事業名) DV防止支援事業

◇事業目的・事業対象

男女が互いに個人としての人権を尊重し、配偶者やパートナーなど親密な関係で起こる暴力の防止に向けた啓発や被害者の相談支援体制の整備に向けた事業を展開する。

◇事業の概要

①DV防止・支援基本計画に基づく、防止啓発の推進

- ・DV被害の潜在化を防ぐため、DV防止啓発リーフレットを活用した広報・啓発活動を行う。
- ・DV相談専用ダイヤルをPRするため、相談窓口カード配架による周知を図る。
- ・一般市民向けにDV防止を啓発するための講演会を開催する。

②DV相談支援センターの一機能としてDV専用ダイヤルによる初期相談の実施

- ・DV被害の潜在化、重篤化を防ぐため、相談先を明確にするとともに、相談状況に応じて次のステップにつなげる。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成25年度	-	一般会計	自治事務(その他)	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	10,365	6,024	5,893	4,632
	決算	10,230	5,799	5,654	
	国・県支出				
	市債				
人件費(報酬等)(千円)	その他				
	一般財源	10,230	5,799	5,654	4,632
	一般会計繰入金				
人件費(千円)		2,100	2,100	1,400	1,760
人工	正規	0.3	0.3	0.2	0.2
	再任用(h31)				0.1
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
DV相談専用ダイヤルの相談件数(件)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	400	450	450	450		500
実績値	639	309	328			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- ・DV被害の潜在化を防ぐため、DV防止啓発リーフレットを活用した広報・啓発活動を行う。
- ・DV相談専用ダイヤルをPRするため、相談窓口カード配架による周知を図る。
- ・一般市民向けにDV防止を啓発するための講演会を開催する。
- ・DV相談支援センターの一機能としてDV専用ダイヤルによる初期相談を実施する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・女性に対する暴力をなくす運動期間中にDV防止啓発事業として、市役所本庁舎1階ロビーでのパネル展示(11/13～11/20)や、遠鉄バス等の電光掲示板による情報発信を行った。
- ・浜松東高3年生を対象とした「デートDV防止講演会」を開催し、191人が受講した。
- ・男女間の暴力根絶のため、DV相談支援センター機能の一部を担う電話相談を業務委託にて実施。(相談件数:328件)

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

DV相談専用ダイヤル設置の目的が、相談の第一歩として相談者から相談しやすい状況を整えるためのものであることから、DVの初期相談的なものが多くの件数を占める点では、所期の目的を果たしていると考えられる。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

平成25年1月からDV電話相談業務の委託を開始し、平成29年度には契約方法と業務内容の見直しを行った。

事業シート (事業名) 活動拠点施設事業

◇事業目的・事業対象

女性のエンパワーメントを支援する活動及び男女共同参画を推進する市民活動団体等の活動拠点としての機能を充実することにより、男女共同参画の推進を図る。

◇事業の概要

男女共同参画社会の実現に向けて、男女共同参画を推進する活動拠点として、各種講座、相談業務、情報発信、団体育成を委託して行う。

【重点戦略項目 No123】

・将来的に地元で活躍できる人材の育成を目指し、「はままつ女性カレッジ」を委託事業にて開催する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S62	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市男女共同参画推進条例、浜松市男女共同参画・文化芸術活動推進センター条例	-	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	23,608	23,608	24,107	24,107
	決算	23,488	23,488	24,107	
	国・県支出				
	市債				
人件費(報酬等) (千円)	その他				
	一般財源	23,488	23,488	24,107	24,107
	一般会計繰入金				
人工	人件費 (千円)	3,500	3,500	3,500	2,800
	正規	0.5	0.5	0.5	0.4
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
啓発事業参加者数(人)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	1,300	1800	2000	2200		3000
実績値	3464	2419	3274			
相談件数(件)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	1,300	1300	1500	1500		1800
実績値	1508	1699	1679			
講座の満足度(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	80	85	90	95		95
実績値	96	95.8	94.6			
はままつ女性カレッジの総参加者累計(人)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	12	24	30	48		100
実績値	11	18	33			

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

男女共同参画社会の実現に向けて、男女共同参画を推進する活動拠点として、各種講座、相談業務、情報発信、団体育成を委託して行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

○あいホールにおける、男女共同参画推進事業の実施

男女共同参画推進のための活動拠点施設として、男女共同参画の意識啓発や人材育成に成果をあげた。

- ・啓発事業参加者 3,274人
- ・参加者満足度 94.6% ※講座終了後アンケートより

○相談事業

相談件数 1,679件

・事業の見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 委託・指定管理 / 事業費 現状 人工 現状

- ・啓発事業の参加者の増加は、事業運営とそれに伴う施設活用等が軌道に乗っていることによるものと考えられる。
- ・前年度の講座等のアンケート結果を検証し、市民ニーズを反映させるなど、効果的な事業を委託にて実施した。
- ・「はままつ女性カレッジ」等を直営から委託事業へ変更し、事業の効率化を図った。

今後の方向性

大項目 現状 小項目 委託・指定管理 / 事業費 現状 人工 現状

“あいホール”で実施する様々な講座等へ市民の方が参加していただくことで、男女共同参画についての気づきを促すなど、引き続き、拠点施設における各種事業の充実を図っていく。

補助シート (事業名) 活動拠点施設事業

◇事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
123			・将来的に地元で活躍できる人材の育成を目標とした「はまつ女性カレッジ」を委託事業により開催する。	・将来的に地元で活躍できる人材の育成を目標とした「はまつ女性カレッジ」を委託事業により開催する。